※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　地歴科

教科	地理・歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新選　歴史総合（東京書籍）						
副教材等	新選　歴史総合ワークノート（東京書籍）　　新詳　歴史総合（浜島書店） 教員作成の授業プリント、ワークシート（ＷＳ）、ノート						

１　担当者から生徒へのメッセージ

○日本・世界の歴史を知り、自分の明るい未来を切り開いていく、具体的な道しるべとなるように学習してもらいたい。
○世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する学習を通じて、国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の形成者に必要な資質・能力を培ってほしい。

２　学習の到達目標

a:近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中における日本を広く相互的な視野から捉え、資料を活用しながら日本・世界相互の歴史について理解できる。
b:現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察，構想する学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会について、自分の考えを資料を活用し、またはグループ活動等で表現できる
c:授業での積極的な発言やグループ活動で協調性をもって取り組むことができる。また、グループ活動結果の発表や発表のサポートについて自分なりに工夫して役割を遂行することができる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。 ○諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。 ○考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりすることができる。	○近現代の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに，次の学習へのつながりを見いだそうとしている。 ○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

＊　表中の観点についてａ：知識・技能　ｂ：思考・判断・表現　ｃ：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

３　学習の計画　　ワークシートはＷＳと表記

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価基準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第１章 歴史の扉	１節 歴史と私たち ２節 歴史の特質と資料	a 諸資料を活用し，私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象が，日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。	定期考査		
	第２章 近代化と私たち	１節 近代化への問い ２節 結び付く世界と日本の開国	b 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し，問いを表現している。 a 18 世紀のアジアや日本における生産と流通，アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，18 世紀のアジアの経済と社会を理解している。	定期考査	ＷＳ	
		１ 18 世紀の東アジア ２ 結び付くアジア諸地域	b 18 世紀の東アジア諸国がどのような関係を築いていったのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。 c18 世紀のアジアの経済と社会についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。		ＷＳ・討論	発表
		３ 18 世紀のヨーロッパとアジア ４ 産業革命のはじまり	a イギリスを中心とする世界市場が形成された過程と，世界の諸地域の変容について理解する。 b 18 世紀のヨーロッパとアジアの交易の特徴について，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している	定期考査	ＷＳ	
		５ 世界市場の形成	b「世界の工場」および「世界の銀行」と呼ばれたイギリスが，自由貿易によって世界の諸地域にどのような影響を及ぼし，諸地域がどのように変容していったのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。		ＷＳ	
		６ 東アジアの国際秩序の変化と日本の開国 ７ 世界経済の変化と日本の産業革命	a 毛皮交易と捕鯨の歴史について学び，東アジアと太平洋世界との関わりについて理解を深める。 b 産業革命の広がりが，それぞれの国や地域にどのような変化をもたらしたのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。 c 工業化と世界市場の形成について，見通しを持って学習に取り組もうとしている。	定期考査	ＷＳ・討論	発表

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1学期		３節 国民国家と明治維新 １ 市民革命と現代社会	a 市民革命はどのような社会の仕組みを生み出したのかについて理解する。 b アメリカ独立革命やフランス革命が生み出した社会の仕組みについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現している。 c 立憲体制と国民国家の形成についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。	定期考査	小テスト	発表
		２ 自由主義とナショナリズム	b 19 世紀の欧米諸国では，どのような背景のもとにどのような国家形態が目指されたのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している		WS	
		３ アジアの諸国家とその変容 ４ 明治維新と東アジアの国際関係	c 明治維新は，どのような国際環境の中で起き，日本社会をどのように変えたのかについて理解する。 b 日本で明治政府が行ったさまざまな改革や，その当時の東アジアの国際関係について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察している。 c 万国博覧会について学び，産業革命と植民地支配の理解を深める。		小テスト	発表
		５ 立憲制の広まり ６ 帝国主義と植民地７ 日清戦争と華夷秩序の解体	a 帝国主義とは何かを理解する。また，帝国主義国の植民地獲得競争がどのように繰り広げられたのかについて理解する。 c 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。 b 帝国主義が起こった背景や，帝国主義国による世界分割の進行と世界秩序の変容について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS・討論	発表
		８ 帝国主義諸国の競合と国際関係	a 帝国主義国家どうしがどのような関係を築いたのかについて理解する。 b 帝国主義諸国間の対立や協力，日本とロシアの対立などの国際関係について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS	
		９ 植民地支配と植民地の近代 10 20 世紀はじめの世界	a 植民地の人々がどのような支配を受けていたのかについて理解する。 b 帝国主義国による植民地支配が，現地の近代化に与えた影響などについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。 帝国主義政策の背景，帝国主義政策がアジア諸国に与えた影響などに着目して列強間の関係の変容などについて考察し，結果を表現している。 c 列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	WS・討論	討論・発表

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

1学期		４節 近代化と現代的な諸課題	b 近代化に関わる諸事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，主題について，現代的な諸課題に関連付けて，多面的・多角的に考察し，その結果を表現している。		WS	
	第３章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	１節 国際秩序の変化や大衆化への問い ２節 第一次世界大戦と大衆社会 １ 大衆社会の時代	a 大衆化とは何か，また，大衆化によって人々の生活がどのように変化したのかを理解する。 b 大衆化によって，人々の生活がどのように変化したのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。	定期考査	WS・討論	発表・振り返り
		２ 第一次世界大戦の展開 ３ 国際協調体制の形成	b 第一次世界大戦において出現した総力戦体制とはどのようなものだったのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。 a ヴェルサイユ体制とワシントン体制について，諸資料から読み取り，理解している。	定期考査	WS・討論	
2学期		４ ソヴィエト連邦の成立と社会主義	a ソヴィエト連邦の成立と，社会主義運動の拡大過程について理解する。 b ソヴィエト連邦がどのような経緯のもとに成立し，社会主義国家の成立が世界にどのような影響を与えたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する	定期考査	WS	
		５ アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会	a アメリカ合衆国の台頭と大衆文化の広がりについて理解する。 b アメリカ合衆国の台頭と大量生産・大量消費社会の到来が，世界の人々にどのような影響を与えたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS・討論	
		６ アジアの経済成長と移動する人々	a アジアの経済成長とそれぞれの地域の結び付きについて理解する。 b 第一次世界大戦後のアジアの経済がどのように発展し，どのような人の移動があったのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	WS	討論・発表

＊ 表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

2学期		７ 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容	a 世界における民主主義の進展と，日本での展開について理解する。 b 民主主義がどのように世界に広がり，日本で大正デモクラシーと呼ばれる風潮を引き起こすことになったのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	小テスト	
		８ 民主主義の拡大と社会変革の動き ９ マスメディアの発達と日常生活	a マスメディアの発達と人々の日常生活の変化について理解する。 b マスメディアの発達と，それに対する人々の日常生活の変化，大衆社会の成立について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察しする。 c 大衆社会の形成と社会運動の広がりについての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	WS・討論	発表・振り返り
		３節 経済危機と第二次世界大戦 １ 世界恐慌	a 世界恐慌が発生した原因とそれに対する各国の対応について理解する。 b 世界恐慌が発生した過程と，それに対して各国がどのように対応したのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS	
		２ アジア・アフリカと大衆社会 ３ 国際協調体制の崩壊	a 第一次世界大戦後の国際協調体制の崩壊について理解する。 b ヨーロッパにおけるファシズムの伸長とそれへの他国の対応，アジアにおける日本の軍部の台頭について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS	
		４ 日中戦争と深刻化する世界の危機	a 日中戦争やファシズムの膨張による世界の危機について理解する。 b 日本がどのような経緯で日中戦争を始め，また，それがヨーロッパの動きとどのように関わり合っていたかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 国際協調体制の動揺についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	WS・討論	発表
		５ 第二次世界大戦の勃発	a 第二次世界大戦の勃発とその拡大，および日中戦争との結び付きについて理解する。 c 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。 b 第二次世界大戦がどのように始まり，どのように拡大したか，また，日中戦争やアジア太平洋戦争とどのように結び付いたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	WS・討論	発表・振り返り

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

２学期		６ 第二次世界大戦における連合国と戦後構想	a 第二次世界大戦の終結と戦後の国際秩序の形成について理解する。 b イタリアとドイツがどのように無条件降伏をしたか，また，戦後にどのような国際秩序が目指されたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	ＷＳ	
		７ アジア太平洋戦争と日本の敗戦 ８ 連合国の占領政策と日本の戦後改革	a アジア太平洋戦争の展開と，日本の敗戦について理解する。 b アジア太平洋戦争下の人々の生活はどのようなものだったのか，また，戦争がどのように展開していく中で日本が降伏したのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	ＷＳ	
		９ 冷戦のはじまりと東アジアにおける展開 10 再編されるアジア ４節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	a 冷戦下に再編されたアジア諸地域の動きについて理解する b 冷戦下にアジアの諸地域で起こったナショナリズムや民族独立の動きが，世界にどのような影響を与えたのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	ＷＳ・討論	発表・振り返り
	第４章 グローバル化と私たち	１節 グローバル化への問い ２節 冷戦と世界経済 １ 冷戦の拡大と第三勢力	a 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，国際政治の変容を理解する。 a 冷戦が各国経済に及ぼした影響，地域連携の背景と影響，日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して，冷戦下の世界経済や地域連携の特徴，経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し，表現することを通して，世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 b 冷戦が拡大しながらも共存していく過程や，その中でアジア・アフリカ諸国に独自の動きが現れたことについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 国際政治の変容についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。	定期考査	ＷＳ・討論	発表

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

２学期		２ キューバ危機と核兵器の管理 ３ 脱植民地化の進展と地域紛争 ４ 計画経済と開発	a 自由主義国と社会主義国の経済政策と，新興国の経済政策と先進国の援助について理解する。 c 世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。 b 社会主義国の計画経済と西側先進国の福祉国家化，および開発途上国の経済政策と先進国の開発援助について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 英米の対外政策の比較から，帝国主義についての理解を深める。	定期考査	ＷＳ・討論	発表
		５ 冷戦下の日本とアジア ６ 日本と欧米先進国の経済成長	a 欧米先進国と日本の経済成長とそれに伴う社会の変容について理解する。 b 欧米先進国や日本の経済成長の特徴と，経済成長がもたらした社会の変容や環境問題について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。	定期考査	ＷＳ	
３学期		７ 地域連携の拡大 ８ ベトナム戦争と冷戦構造の変容	a ヨーロッパやアジアにおける地域連携の動きについて理解する。 b ヨーロッパで進んだ地域連携の動きやアジアにおける地域連携の動きにはどのような特徴があるのかについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	ＷＳ	発表・振り返り
		３節 世界秩序の変容と日本 １ 問い直される近代 ２ 石油危機と経済の自由化	a 先進諸国において，近代的な価値観を問い直す動きが現れ，価値観の変容が生じたことについて理解する。 b 経済的な発展をとげた先進諸国において，近代的な価値観が見直されるようになり，新たな価値観に基づいた様々な運動が起こったことについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 市場経済の変容と課題についての問いを表現し，小単元の学習の見通しを立てる。	定期考査	ＷＳ・討論	発表
		３ アジアの経済発展と日本	a 東アジア・東南アジア諸国・地域の経済発展について理解する。 b アジア NIES や ASEAN 諸国の経済発展と日本の関係，中国の改革開放政策と経済発展などについて，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 市場経済の変容と課題についての問いを踏まえて，小単元の学習を振り返る。	定期考査	ＷＳ	振り返り

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

３学期		４ 冷戦の終結と世界	a 冷戦の終結と東アジアの分断状況について理解する。 b 冷戦の終結に向かったアメリカとソ連,およびヨーロッパ諸国の動きと，東アジアにおける分断状況の継続について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 c 冷戦終結後の国際政治の変容と課題についての問いを表現し，単元の学習を振り返る。	定期考査	小テスト	発表
		５ 拡散する地域紛争 ６ 民主化の進展 ７ グローバル化と地域統合	a 世界各国で進んだ民主化の動きと,日本の政権交代について理解する。 b 世界各国で進んだ民主化の動きと冷戦の終結の関係や，日本で起こった政権交代について，諸資料から読み取り，多面的・多角的に考察し，表現する。 b 冷戦終結後になぜグローバル化が進んだのか，また，なぜ地域統合が進展したのかについて，多面的・多角的に考察し，ワークシート等に表現している。	定期考査	ＷＳ	
		８ 岐路に立つ世界と日本 ４節 現代的な諸課題の形成と展望探究の方法	c 科目のまとめとして,現代的な諸課題に関する主題を設定し，事象の背景や原因，結果や影響などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現することを通して，歴史的経緯を踏まえて，持続可能な社会に向けて，現代的な諸課題の展望を探究する。			発表・振り返り

＊　表中の観点について a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度